

4月10日【臨時号】 いちうら感染症情報 麻しんについての注意喚起

<Topics> 管内で麻しん症例が発生しました

令和8年4月9日、市川保健所管内の医療機関から麻しん患者の届出があり、
県衛生研究所で検査を実施したところ、同日陽性と判明しました。

・20代、女性 ・麻しん罹患歴 なし ・ワクチン接種歴 1回

経過等

4月6日（月） 発疹 ※発症日

4月9日（木） ①午前6時50分頃～午前7時50分頃

東京メトロ丸の内線・東西線 中野坂上駅-大手町駅-行徳駅

②午前7時50分頃～午前8時頃（乗車時間約10分）

行徳駅前のタクシー（会社名不明）にて行徳総合病院へ

③午前8時頃～午後0時45分頃

行徳総合病院を受診（受診動機は麻しんを疑ったものではない）

同医療機関で麻しんの診断、届出

県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性と判定

※詳細は別添を御確認ください

※潜伏期間は7～14日間であり、接触者が既に発症している可能性があります。
感染可能期間は、発症日の前日から解熱後3日を経過するまでとされています。

■■■医療機関の皆様へ■■■

- ・職員の麻しん予防接種歴や抗体価、検査診断（PCR等）された麻疹の罹患歴の確認を今一度お願いいたします。
- ・トリアージ診療の強化をお願いいたします。
- ・麻しんが疑われる患者を診察した時は、患者へ公共交通機関を使用せず受診（処方箋受け取り等薬局含む）、帰宅するようご指導お願いいたします。
- ・麻しんが疑われる患者が受診した場合は、当保健所まで御一報ください。
- ・麻しんが疑われる患者が受診した場合は、接触者※（疑い患者と同じ空間を共有した可能性のある職員や来院者等）のリストアップをお願いいたします。

※同一空間の共有者

空調が共通の空間に麻疹患者と同時に滞在していた者で、
患者がその空間から離れた後少なくとも1時間（最大2時間）以内にその空間に
滞在した者は患者と同一空間を共有したと考える

参考：医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版

https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/medical_201805.pdf

■ ■ ■ 乳幼児施設、学校関係者の皆様へ ■ ■ ■

- ・日本は2015年に麻しん排除国として認定されています。
最近の症例は、帰国者・渡航者を発端とするものであり、乳幼児の感染症というよりも20～40代の成人に多く見られる感染症となっています。
そのため、児童生徒への対策と同時に、職員への対策が重要です。
- ・生後6か月までの園児については、母親のワクチン接種歴、麻しん罹患歴を確認してください。
- ・生後6か月以上の園児については、母親からの免疫は少なくなっています。麻しんと診断された者と接触後、72時間以内の麻しんワクチン接種が発症予防に効果的である場合があります。
- ・定期接種の①第Ⅰ期（1歳児）と②第Ⅱ期（小学校就学前1年間の幼児）の対象となっている園児、児童、生徒について、予防接種歴を確認し、2回接種できていない場合は接種勧奨をお願いいたします。
- ・職員については、予防接種歴や罹患歴、抗体価を確認し、2回の接種歴がない場合は接種をご検討ください。

参考：国立感染症研究所 麻しん Q&A

<https://id-info.jihs.go.jp/relevant-information/measles/faq/on-school/index.html>

参考：学校における麻しん対策ガイドライン第二版

https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/school_201802.pdf

■ ■ ■ 一般の方へ ■ ■ ■

【予防のために】

- ・ 麻しんは感染力が強く、空気感染であるため、手洗い、マスクのみで予防はできません。
免疫を有していない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。
- ・ 麻しんの予防には予防接種が最も有効です。2回の定期接種を必ず受けましょう。
- ・ 麻しんを発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、定期予防接種を2回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう。

【麻しんが疑われるとき】

- ・ 麻しん患者と接触したり、海外へ最近渡航した方で、発熱・せき・鼻水・眼球結膜の充血・発しん等の症状がある方は麻しんの疑いがあります。
- ・ 過去に、麻しんに感染したことやワクチン接種を受けたことがない方は要注意です。
- ・ 麻しんの感染力は非常に強いので、麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に電話連絡でその旨を伝え、医療機関の指示に従い受診しましょう。
- ・ 受診時は、周囲への感染を防ぐため、公共交通機関等の利用を避けましょう。

麻疹（はしか）患者の発生について

県内で麻疹患者の発生の届出があり、当該患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻疹を感染させてしまう可能性がある期間（感染可能期間）に、不特定多数の方が利用する施設や公共交通機関等を利用していたことが判明しましたので、お知らせします。

現在、県内で麻疹の患者が増えていますので、予防接種の実施等、感染予防に努めてください。

1 感染可能期間（発症日前日の4月5日以降）に患者が利用した施設等

利用日時	利用した施設等
4月9日（木）	
① 午前6時50分頃～午前7時50分頃	① 東京メトロ丸ノ内線・東西線 中野坂上-大手町-行徳
② 午前7時50分頃～午前8時頃（乗車時間約10分）	② 行徳駅前のタクシー（会社名不明）にて行徳総合病院へ
③ 午前8時頃～午後0時45分頃	③ 行徳総合病院

- ・ 各施設等へのお問い合わせは、御遠慮くださいますようお願いいたします。
- ・ 麻疹ウイルスの空気中での生存期間は2時間以内とされています。現在、上記の施設等を利用しても感染の恐れはありません。
- ・ 接触者が特定できておらず、不特定多数の接触者がいる可能性がある施設等については、広く情報提供するため、施設名や公共交通機関を公表しています。

2 患者の概要

- （1） 基本情報：20代・女性、東京都在住、麻疹予防接種歴：1回
- （2） 麻疹患者との接触及び海外渡航歴：なし
- （3） 症状：発疹、発熱
- （4） 経過等

日付	患者発生の経過等
4月6日	発症（発疹）
4月9日	行徳総合病院を受診（受診動機は麻疹を疑ったものではなかった） 麻疹を疑い検体（咽頭ぬぐい液、血液）採取 県衛生研究所の遺伝子検査の結果、陽性 発生届を提出

- ※ 行動歴調査等から、特定された接触者については個別に対応を行っています。
- ※ 当該患者は、快方に向かっています。

■ 県民の皆様へ

- ・ 麻しんの感染力は非常に強く、感染した場合、更に多くの感染者が発生するなど社会的影響が大きい感染症です。
- ・ 同じ時間帯に利用された方で、利用後 21 日以内（特に 10 日前後）に発熱や発しん等、麻しんを疑うような症状が現れた場合は、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。
- ・ 受診の際は、周囲への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けるようにしてください。
- ・ 海外では、東南アジア、中東、アメリカ、アフリカ等の地域で麻しんが流行しています。事前に渡航先での流行状況や感染症情報をよく確認してください。海外旅行等で流行地へ渡航される場合は、ご自身の過去の罹患歴や予防接種歴を確認していただき、必要な検査や事前に予防接種を受けていただくことをご検討ください。また、海外への渡航がない場合でも、麻しんの定期予防接種（第 1 期：1 歳児、第 2 期：小学校就学前の 1 年間）をまだ受けていない方は、早めに予防接種を受けましょう。

■ 医療機関の皆様へ

- ・ 麻しんの感染者が県内や全国で多数報告されています。 麻しんを疑う患者が受診した場合は、予防接種歴の確認や院内感染対策の実施など、麻しんを意識した診療を行うとともに、届出に必要な要件を満たすと診断した場合は、速やかに最寄りの保健所に届出をお願いします。

(参考)

- ・ 厚生労働省 麻しんについて
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-aku-kansenshou/measles/index.html
- ・ 厚生労働省検疫所 (FORTH) 海外渡航者向け情報
<https://www.forth.go.jp/travel/index.html>
- ・ 政府広報オンライン 海外旅行を安全・健康に楽しむために必要な準備と知識
<https://www.gov-online.go.jp/article/202412/entry-6907.html>
- ・ 国立健康危機管理研究機構 麻疹 発生動向調査
<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>
- ・ 千葉県 麻しん (はしか) にご注意!
<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html>
- ・ 千葉県感染症情報センターホームページ
<https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/>

【参考】

麻疹（はしか）について

1 症状

- ・ 感染すると通常 10 日から 12 日後に 38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血などが約 2 日から 4 日間続き、解熱後、再び 39℃以上の高熱と発しんが出現します。
- ・ 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者 1,000 人に 1 人の割合で脳炎が発症すると言われており、死亡する割合も、先進国であっても 1,000 人に 1 人と言われています。

2 感染経路

- ・ 麻疹は麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・ 麻疹ウイルスの主たる感染経路は空気感染で、その感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症すると言われています。
- ・ また、発症した人が周囲に感染させる期間（感染可能期間）は、症状が出現する 1 日前から解熱後 3 日間まで（全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発しん出現後 5 日間まで）といわれています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間（最長 21 日間程度になる場合もあります。）

4 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行う

5 予防

- ・ 麻疹は感染力が強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。
- ・ 麻疹の予防には予防接種が最も有効です。2 回の定期接種を必ず受けましょう。
- ・ 麻疹を発症した場合、学校や職場等で感染を拡大させる恐れがあるため、母子手帳などで予防接種歴を確認し、定期予防接種を 2 回受けていない方や予防接種歴が不明な方は、かかりつけ医などに相談の上、接種を検討しましょう。

6 県内の発生状況（麻疹届出数）

年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
千葉県	3	26	26	0	0	0	1	1	22	22*
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	197*

*千葉県の 2026 年は 4 月 9 日までの届出数

*全国の 2026 年は国の感染症発生動向調査第 13 週（3 月 23 日～3 月 29 日）までの速報値